

受賞技術	ワイヤロープ式防護柵
技術開発者	東京製綱株式会社 田代 元司
	
受賞にあたって	
<p>この度は、名誉ある国土技術開発賞 優秀賞を賜り、誠に有難うございます。本システムの開発に当たり御指導、御苦勞頂いた皆様に心より御礼申し上げます。</p> <p>日本国内において、ロープの用いた柵の技術開発は1950年代より始まったと聞いております。当時は、現在のように車輛を走らせる施設もなく、富士山の斜面を利用して衝突実験をおこなったそうです。</p> <p>本システムの開発は、古き時代の諸先輩方の努力の中で培われた技術と最新のシミュレーション技術・計測技術は勿論のこと、多くのアイデアと知恵が実を結んだのだものと思っております。本システム開発の難しさは、形状・重量・速度の異なる大型車輛と、高速で走行する乗用車のいずれにも有効でないとならない点であります。長年に渡り数多くの衝突試験を繰り返しながらも、諦めることなく一步一步問題解決を進めたエンジニアの皆様には心より感謝いたしております。</p> <p>インフラ整備が進む中、高速で走行する車輛の事故はドライバー及び同乗者が怪我を負い、最悪のケース命を奪われる確率も高くなっております。本システムの設置により一人でも多くの方が救われることを願っております。</p>	
受賞後の動き	
<p>東京製綱において道路安全設備事業に携わる傍ら、鋼製防護柵協会の理事としても活動を続けております。今後も道路安全環境を高められるように今までと同様の活動を続けていく予定でございます。</p>	